

# こどもと健康

NO・127

2012・11・12

## 感染性胃腸炎流行中！

例年秋から流行する感染性胃腸炎が今年も10月から増加を続け、10月下旬から本格的な流行期に入りました。インフルエンザを始めカゼのウイルスやノロウイルス、アデノウイルス、ロタウイルス等の腸管系ウイルス性とO-157、赤痢菌、サルモネラ、キャンピロバクター等による細菌性のケースがあります。小児に圧倒的に多いのはウイルス性で秋から冬にかけてノロウイルスが最も多く、寒くなると乳幼児にはロタウイルスにも要注意です。ノロウイルスは感染力が強く、今年も保育所・幼稚園・学校での集団感染事例が報告されています。その症状は吐気、嘔吐、腹痛、下痢が主で発熱を伴うことも多いようです。特に、嘔吐が強く、時に10回以上に及ぶこともあります。小児では半日か精々1日で軽快します。下痢、腹痛、発熱は2、3日続きます。感染経路は吐物や下痢便の他、ウイルスに汚染された手指、衣服、机等を触って起こる接触・経口感染です。ノロウイルスの感染力は強く、1g当り100万から1億個のウイルスがある吐物に接触すると僅か10個のウイルスで感染すると言われます。時には吐物が乾燥してウイルスが空中に浮遊して空気感染を起こすこともあります。潜伏期は半日から数日ですので、家族や保育所・幼稚園・学校で集団的に広がります。

ロタウイルス胃腸炎は乳幼児に多く、嘔吐、下痢、発熱が長引くことがあります。その為、乳児は脱水症を起こしたり、時には脳症で入院が必要なケースがあります。日本では死に至るケースは稀ですが、アフリカ等開発途上国では年間100万人が死亡します。便が白っぽくなることもあり、白色便性下痢症とも言われます。迅速検査で便のウイルスの有無が判定できますので、下痢をしている時は、おむつのまま便を持って受診して下さい。便性を確認し、必要があればウイルス検査や細菌検査を実施します。昨年末から、予防接種(経口生ワクチン)が出来るようになりました。生後6週から開始でき、生後24週までに2回の接種(服用)が必要です。

ウイルス性の場合、治療には抗生剤は不要で吐き気止め、整腸剤の他、経口補液で嘔吐・下痢で失われた水分とミネラルを補給して、脱水を防ぐことが大切です。症状が強く長引く時には点滴が必要なこともありますが、多くは経口補液で軽快します。薬局で経口補水液(イオン飲料)を購入する時は、ポカリスエットなどのスポーツ飲料ではなく、OS-1(大塚製薬)やアクアライトORS(和光堂)にして下さい。吐き気のある間は赤ちゃんならスプーン1杯から、年長児は5~10mlを5~10分おきに与え、少しずつ増やして飲ませましょう。

予防はウイルスに触れないこと、持ち込まないことが大切です。もっとも簡単で重要なことは手洗いです。家族皆でこまめに手を洗いましょう。吐物の処理はマスクをしてビニール手袋(なければナイロン袋で)を付け50~100倍に希釈したキッチンハイターやブリーチ等の漂白剤をつけたキッチンペーパーや雑巾で拭き取ってナイロン袋に入れ、しっかり口を閉じて捨てましょう。例年春まで流行が続きますので、下痢・嘔吐には気をつけましょう。

# RSウイルス感染症流行中！

例年、寒くなるとRSウイルス感染症が増えてきます。RSって何？と思われる方も多いでしょう。Respiratory Syncytial の略で要するに風邪の病原体の一つです。このウイルスの感染力は強く、保育所を中心に流行します。年長児以上は鼻カゼ程度でおわるケースも多いのですが、乳児が罹ると重症化することがあります。インフルエンザウイルスと同じく、冬のウイルスですが、今年は9月から流行しています。潜伏期は4～5日で鼻水、鼻づまり、咳があり、発熱を伴う事もあります。特に、6ヶ月未満の乳児が罹ると、更に喘鳴（ヒューヒュー、ゼーゼー）を伴った咳をして呼吸数が増え、陥没呼吸をします。ウイルスを含んだ鼻汁や分泌物が気管支に流れこむ為気管支炎、細気管支炎が起こるのです。次第に哺乳できなくなり、新生児では無呼吸になることもあります。気管支炎、細気管支炎から気管支肺炎となるので、注意が必要です。ありふれたウイルスですので、2歳までに一度は感染を受けますが、初感染の時に最も症状が強く出ます。何度でも罹患しますが、年長児になると鼻カゼ程度で次第に症状は軽くなってきます。お母さんからの免疫移行がない為、新生児でも罹患して重症化することがあります。未熟児や先天性心疾患、慢性肺疾患の乳児には抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体（シナジス）の注射を流行期の秋から春にかけて月1回注射して感染を予防することが出来ます。

インフルエンザと同じく飛沫感染をしますが、経口感染もあって赤ちゃんはなんでも口に入れますので、注意が必要です。感染の予防にはうがい、手洗いとアルコールによる消毒です。咳エチケットを守り、特に赤ちゃんが口に入れるおもちゃやドアノブ等を消毒しましょう。家庭に乳児がいる場合は家族が鼻カゼ程度でも注意しましょう。

## インフルエンザワクチンを受けましょう！

もうすぐインフルエンザの季節です。今年は今のところ流行の気配はなく、先週の感染症サーベイランスでも大阪府下308医療機関で1週間に11件しか報告はありませんでした。年内にワクチン接種をしておきましょう。当院ではインフルエンザワクチンを10月15日から開始しました。今年から携帯電話、パソコンから下記アドレスにアクセスして予約をお願いしています。13歳未満は2回接種ですので4週間隔で2回とも予約して下さい。接種料金は1回2500円です。

11月12日現在、予約がワクチン確保量に達しましたので、一時予約を中止しています。

<http://0722977771.com/i/>

**12月31日（月）～1月5日（土）まで休診させて頂きます。この間、堺市泉北急病診療センターを受診して下さい。受付は午前9時半から翌朝午前4時半です。（1月5日は午後5時半から）**

**かたぎり小児科ホームページ！**

<http://www.katagiri-shounika.com/>

又は、「堺市 かたぎり小児科」で 検索